

夢をあきらめない

きつと叶えられる



教育は国家百年の計。

本市が力を入れる取組の一つに「人づくり」があります。人づくりの原点は教育にあります。これから先5年間のめざす教育の姿を第2期長浜市教育振興基本計画として策定しましたので、子どもの成長に絞って紹介します。

子どもにとって何より大事なことは、自尊心を高め、そして、夢や希望を持つことです。小さな事でもいい。めざすものが定まれば、それに向かう力が生まれます。学校や家庭、地域での色々な会話や体験は、子どもたちの素地となる重要な肥料です。力を養い、夢を追い続けることは、本人にしかできませんが、周りの大人の役割も重要です。子どもの成長を見守り、変化に気づき、褒めたり、励ましたり、叱ったりしながら、サポートしていきます。

夢を掴む力は、学力、体力、継続力。考えて答えが見つけたときの楽しさ、それを説明できる喜び、出来なかったときの悔しさ、それをバネに挑戦する心を、大事に育んでいきます。

「教える側も、教わる側も一歩前に」、これが長浜の教育です。

園と地域と家庭の連携



社会から孤立し、育児不安になる保護者が増えています。そんな中、家庭での子育てをサポートする地域の力は重要です。育児をしている人同士が交流できる、相談できる、一息つけるような場づくりが、有志や地域で活発に行われています。子どもは私たちの宝です。

子どもたちが夢を持つために

生涯にわたる人格形成のために、乳幼児期は非常に重要です。市では、子どもの意欲と自信を高め、運動できる体づくりや人とうまくかかわれる心づくりをめざし、保育に運動あそびを取り入れています。

家庭や地域、園が連携し、質の高い体験ができるよう取り組みます。



運動あそび

びよんびよんびよん♪カンガルー子どもたちの笑顔があふれます。運動あそびは、(柳沢運動プログラム)を通して、体を動かす楽しさを体験するとともに、学習や活動の基盤として必要な意欲や集中力、記憶力を養うことができます。

家庭のチカラ



子どもにとっても大人にとっても家族と過ごす時間は大切なもの。家庭の事情はそれぞれ異なりますが、子どもの健やかな成長を願うのは、みな同じです。子どもやパートナーは笑っていますか。ホッとできる場所を作るため、「家庭のチカラ」を高めましょう。